

山鹿中学校便り『チャレンジ&エラー』

令和2年6月1日(月)

No.3 文責 藤島浩一

学校再開よいよ6月1日(月)から本格始動です。

令和2年度の始業式や入学式を終え、次の週の4月14日からは臨時休業が始まりました。約2ヶ月間の



休業期間、登校日もあったものの学校での学習等ができない状況が続きました。生徒達も学校再開を待ち望んでいたことと思います。そんな中、5月25日(月)から段階的に学校再開に取り組んでいます。

先週は、分散登校で三密を踏まえた学校生活の過ごし方を確認しつつ生活や学習のリズムに慣れるよう取組を徐々に行ってきました。また、6月1日からは、部活動も再開となり、学校も一気に活気づいていきます。ただ、新型コロナウイルス感染症のリスクがなくなったわけではありません。先週末に配付しております「新しい生活様式」での取組を行いつつ学習への取組幅を広げていきたいと考えています。各教科の学習においても感染リスクを減らすための工夫や学習内容の変更等も行っています。取組等に対して、ご質問等がある場合は、ご遠慮なくご連絡をお願いします。

学年集会や教育相談を行っています

先週の分散登校では、午前・午後組の学級で授業を3時間実施しました。特に、3時間目は各クラスで教育相談を実施し、担任と生徒達との対話の時間を設けました。相談者以外の生徒は、近々実施されるNRT学力調査に向けて静かに学習をしていました。その他、先週、各学年に対して私から話をしました。内容は、新型コロナウイルス感染症と一緒に過ごしていく生活が始まることへの対応。また、今後もストレスがたまるのが予想されるので上手に発散してほしいこと。ただし、まちがっても友達に対してストレスを発散するようなことがないようにしてほしいとお願いをしました。もう一つは、山鹿中学校の存在意義としてのあいさつとおした「山鹿市の元気づくり」について話をしました。先週から登校が始まる中、中学生による市民の方々へのあいさつに対してお礼の電話をいただきました。電話の内容は、中学生のあいさつで「元気ができました。」「嬉しかったです。」「心が温かくなりました。」等のお礼の言葉でした。登校指導の最中、多くの高校生からもあいさつをもらいますのでお返しをしています。このようなキャッチボールでのつながりが「元気」を生むのだと改めて実感しています。一人一人生徒が山鹿市を元気にする力を持っていることを意識し、今後も中学生によるあいさつで山鹿市の元気づくりに貢献していければと思っています。



夏季休業期間と学校閉庁期間が決まりました。

先週末に校長会議があり、山鹿市教育委員会から夏季休業期間と学校閉庁期間の連絡が下記のようにありました。今年の夏休み期間は、学校休業日が2月程あったことを受け学習内容の定着や授業時数の確保のために16日間と以前より短くなりました。ご家庭においては、夏休みを利用してやりたいこともあったかと思えます。残念ですが前向きに気持ちを切り替えて家庭と学校が一緒になり乗り越えていきたいと考えています。ご理解とご協力をお願いします。

なお、7月末から8月上旬まで、授業を行うことで、熱中症等が心配です。冷房や水分補給、定期的な換気等新しい生活様式を取り入れ新型コロナウイルス感染症対策と一緒に熱中症対策も行っていきます。

記

夏季休業期間	令和2年8月	8日(土)	～令和2年8月23日(日)
1学期の終業式	令和2年8月	7日(金)	
2学期の始業式	令和2年8月	24日(月)	

学校閉庁期間 令和2年8月12日(水)～8月14日(金)

※この学校閉庁期間は、教職員の働き方改革の一環としての取組でもあります。詳しくは、別紙で保護者様あてに通知をお出しします。